

イスラエルは直ちに無差別殺戮を止めろ！

パレスチナとイスラエルは

即時停戦を！！



イスラエル、
ガザ南部で地上戦を拡大

イスラエルとイスラム組織ハマスの7日間の休戦後、戦闘が再開。イスラエルは、パレスチナ自治区ガザの全域でハマスに対する地上作戦を継続、拡大していると明らかにしました。

ガザの南部は、当初イスラエルの攻撃対象となった北部から逃れた難民の人々が身を寄せている地域です。イスラエルは、このガザ南部への地上戦拡大を開始。戦闘が激化すればさらなる一般市民の犠牲は避けられません。

「天井のない監獄」と言われるガザ地域、戦火を逃れて自由に外に出ることもできません。ガザ保健当局は、10月の戦闘開始以来、15,500人以上が命を落としたと発表。その7割以上が、女性や子どもで占められ、まさに一般市民を標的にした虐殺・ジェノサイド以外の何物でもありません。

恥すべき日本政府の態度

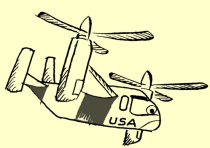
日本政府は、イスラエルの国際法違反の蛮行を批判しようとはせず、10月27日の国連における121各国が賛成した「人道的休戦」を求める決議には、棄権する恥すべき態度を取りました。

パレスチナともイスラエルとも国交のある政府として両国に働きかけ、憲法9条を活かした平和解決のために積極的な役割を果たすべきです。



政府は、
停戦にむけ
平和外交に
全力を

米オスプレイ屋久島沖墜落 京都の空にも度々飛来



11月29日午後2時17分ごろ、在日米軍横田基地所属のCV22オスプレイが、屋久島（鹿児島県）の沖合約1キロの地点に墜落し、米兵6人が犠牲、2人が不明です。在日米軍所属のオスプレイが墜落したのは3機目。

ところが、米軍は事故の原因も明らかになっていないにもかかわらず、オスプレイの運用を続

けるなどやりたい放題、日本国民の命も安全もお構いなしです。日本政府は、米軍に「公式の停止要請」すら行っていません（米国防総省）。

オスプレイは、この京都市の上空を飛行している姿が度々目撃され、墜落の当日にも複数で飛行している姿が目撃されています。日本政府は、米軍にオスプレイの飛行禁止と撤去を強く求めるべきです。

